

Book Fan Newsletter

発行:平成25年10月15日

編集:塩尻市立図書館

0263-53-3365

(Book Fan Newsletter 16号)

書店員が選んだ

今月のおすすめ本



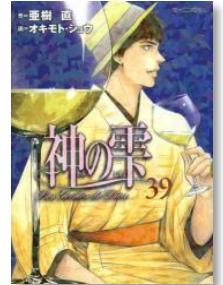
『神の雫 (モーニング KC) 39巻』

亜樹 直 / 作 オキモト シュウ / 画 講談社

週刊「モーニング」に連載のワイン漫画が、コミックとして39巻目の発刊。高級ワインの賞賛に偏らず、気候風土や生産者の思い(哲学)も描かれ、ワインの表現方法も斬新で、ワイン初心者にも分かり易く、2009年にはテレビドラマ化も。欧州はもちろん世界中のワインが登場してきましたが、この巻では後半に日本ワイン編がスタート。

塩尻は日本ワインの聖地として、また市内産ワインも登場し見逃せない1冊です。

(神田堂 大塚さん)



『阪急電車』

有川 浩 / 著 幻冬舎

片道15分しかない関西のローカル線に乗り合わせる人々。

章ごとに違う乗客に焦点を当て、その人物の抱える悩みや背景を基にストーリーが展開するオムニバス形式の短編集となっています。

恋愛をメインテーマに様々な境遇の人物が登場しますが、どのお話も最後は心温まるものとなっており、読了後優しい気持ちにさせてくれ、読書の秋におすすめです。

(興文堂平田店 下里さん)



『エンジェルフライト 国際霊柩送還士』

佐々 涼子 / 著 集英社

先日、トルコの Cappadocia で日本人女子大学生が殺害されるという報道を耳にした時、すぐに彼らのことを思った。彼らとは国際霊柩送還士のこと、日本で亡くなった外国人や外国で亡くなった日本人の遺体や遺骨を故国へ送り届けるのが仕事である。日本で唯一これらを手掛ける会社に密着取材したノンフィクション。

(中島書店 霜田さん)



『庭師の娘』

ジークリート・ラウベ / 作 若松 宣子 / 訳 中村 悦子 / 絵

集英社

18世紀ウィーン、植物好きの娘マリーは修道院へ入ることを決められていましたが、どうしても父親の跡を継ぎ庭師になることを諦めきれません。モーツァルトとの出会いや父親の雇い主のメスメル博士の協力のもとに夢をかなえてゆきます。職業選択の自由が難しい時代でしたが、自分らしく生き、夢を追い求め、幸せをつかむ物語は爽快です。

(中島書店 内藤さん)



『コウケンテツの食パン食』

コウ ケンテツ / 著 NHK出版

コウ ケンテツさんの、ちょっとおしゃれだけど4ステップで作れる手軽さがうれしい、どれもおいしそうなおトーストのレシピ本。定番のバタートーストからデザートまで、目次を見ただけでも焼きたてのトーストにかじりつきたくくなる要注意な一冊。食パンを在庫しているか確認してからお読みいただくことをおすすめします。

(丸文塩尻書店 金子さん)



表面の本の紹介は、市内に本店のある4書店にご協力いただいています。

■神田堂書店 (52-1283)

■興文堂平田店 (58-0323)

■中島書店 (54-3968)

■丸文塩尻書店 (52-5515)



今月のおすすめ本

『二ひきのかえる』

新美 南吉 / 文 渡辺 美智雄 / 絵 安城市中央図書館

緑のかえると黄色のかえるが出会い、お互いの色をきたないと言ってけんかを始めました。すると寒い風が吹き、冬がやってくるのを思い出します。けんかをやめて冬眠し、春にまた出会いますが…。

新見南吉の生誕100年を記念して出版された、深く考えさせられる絵本です。

(絵本担当 浦野)



『光るキノコと夜の森』

西野 嘉憲 / 写真 大場 裕一 / 解説 岩波書店

昼間の光の中では地味なのに、夜になると妖しく光るキノコがあります。なぜ光るのか、そのメカニズムはまだよく分かっていません。この本は、日本に現在10種ほど確認されているという発光キノコの美しい姿を収めた写真集です。発光キノコ図鑑や、発光キノコが見られるスポット紹介も付いています。

(自然科学分野担当 大深)



『翔べ！ カッセイカマン ローカルヒーローの聖地信州・下條村の逆風への挑戦』

山口 真一 / 著 ほおずき書籍

「助けて、カッセイカマン！」その声に応えるのは、下条村で生まれたローカルヒーロー。商工会の一職員が中心となり始まった企画が村外に広がり、全国から人が集まるイベントを開くまでになりました。関係者のインタビューを交え、誕生から十年間の軌跡を辿ります。

(郷土資料担当 上條)



『クリエイティブ産業の経済学 契約、著作権、税制のインセンティブ設計』

後藤 和子 / 著 有斐閣

過日、市内講演会で元大臣が「1万円の有名下着の原価が800円」と、クリエイティブ産業の高い付加価値を挙げ、“地方が文化発信力をもつ重要性”を説きました。

この本は、クリエイティブ産業の歴史や都会での発展のみならず、農村がその拠点となり、地域を活性化する可能性や事例を示しています。

(産業分野担当 原)



『アオギリにたくして』

中村 柊斗 / 著 徳間書店

広島記念公園の被爆アオギリの木の下で、たくさんの人々に被爆体験を語り継いできた沼田さん。放射能の影響で75年は草木も生えないと言われていた広島。しかし翌年の春アオギリは新しい芽を出しました。

この小説はヒロシマの語り部、故・沼田鈴子さんの壮絶な人生をモデルに描かれ、映画化もされました。

(日本文学担当 村上)



『世界の王室うんちく大全 (平凡社新書)』

八幡 和郎 / 著 平凡社

昔は多くの国で君主が存在していましたが、今では29カ国ほど。日本の天皇制度もそのうちの1つで、歴史上世界で1番長く続いています。欧州では様々な歴史の中で君主が変わり、その結果欧州の王族はほとんどが親戚関係にあたります。いかにして親戚関係になったのか、また上下関係はあるのか等様々な疑問をひも解くことにより、世界の歴史を異なった角度から知ることができます。

(歴史分野担当 米山)

